

第2回評価・標準化研究会議事次第（2008年度）

日時：平成20年9月25日（木）9:00-12:00

場所：NTTデータ（豊洲センタービル）

出席者：飯倉・沖・田殿・筒井・三浦・渡辺

議事

1. 衛星画像の精密幾何補正と幾何的な精度の評価について議論された。

（内容）研究会として、まずは衛星画像（ASTER,ALOS,LANDSAT等）の幾何補正および精度について学会誌に報告することとした。以下のように担当者を決めた。11月28日までに担当者は原稿を作成することが確認された。

（仮題）衛星画像の精密幾何補正と幾何的な精度の評価

1. はじめに（渡辺、飯倉...）

精密幾何補正の必要性／オルソとDEM

2. 幾何補正にたいするユーザの要求（筒井...）

3. 提供されるデータの種類と精度（渡辺、田殿...）

TM/ETM+/SPOT/ASTER/AVNIR-2/PRISM...

4. 商用ソフトウェアによる幾何補正（沖、筒井...）

5. ユーザでもできる精密幾何補正（飯倉、...）

システム情報（RPCを含む？）の利用／オルソ補正／DEMを参照

6. 幾何的な精度の評価方法（飯倉、...）

評価地点の体系的な選定／系統的な誤差の評価／DEMの利用

7. まとめ（飯倉、沖.....）

2. 今後の研究会テーマについて

（内容）今後の研究会テーマについて議論した。

（1）各種数値標高モデルの評価、（2）大気の放射伝達モデルの評価・普及、（3）大気・地形効果補正の評価・標準化、（4）土地被覆分類方法の評価・標準化、（5）センサーの校正（DNから放射輝度）などの意見が上がっている。

次回の研究会議で今後の研究会のテーマについての方向性を絞りたい。

3. 今後の活動計画について

次回研究会議：11月中旬頃に開催予定